

## KitaQフェスinTokyo2018に チーム「相棒」が登場

昨年に引き続き、北九州市東京事務所主催のKitaQフェスinTokyo2018がアーツ千代田で開催されました。

このイベントは北九州市の地方創生に係る取組のひとつとして、首都圏における北九州市の認知度向上や首都圏からの交流人口の拡大、また本市への移住・就職を促進するため、東京の地から北九州の様々な魅力を発信することを目的としています。また、地元出身のタレントによるステージや、観光や食、文化など北九州市の魅力伝えるブース出展など様々なPRイベントを行いました。



本市出身のロバートも昨年に引き続き出演!



開幕初日にはなんと相棒シリーズでおなじみの水谷豊さんと反町隆史さんが登場し、北橋市長とトークイベントを繰り広げ、会場は大いに盛り上がりました。

私も同席し、意見交換させていただきました。

## 貴景勝関が北橋市長を表敬訪問

大相撲九州場所で初優勝を果たした小結貴景勝関が北九州場所終了後北九州市役所を訪れ、北橋市長に優勝を報告しました。貴景勝関は「九州場所ではいい相棒が取れた。初場所でもしっかりと成績を残して、番付を上げたい」と意欲を語りました。それを受けて市長は「角界を代表する横綱になってほしい」とエールを送りました。

暴力問題など暗い話題の多かった相撲界ですが、1年締めくくりに九州場所は久々の日本人の優勝に沸き、大いに盛り上がりました。貴乃花部屋は消滅しましたが、その意思や思いを相撲にぶつける姿に改めて感動しました。来場所以降の貴景勝関の活躍を祈念申し上げます。



## ついに期日前投票所を イオンモール八幡東に設置

一昨年に行われた北九州市議会議員選挙の投票率は1月の厳寒期、高齢化による移動の困難さや若者の政治離れなども加わり、市全体で39.2%と過去最低の投票率となりました。

その為、投票率の向上を図るため検討会が設置され、投票環境の向上に向けての改善策が協議されました。私も議会質問で度々取り上げ、商業施設での期日前投票所の設置を提案してきましたが、ようやく実現することが出来ました。

今行われる市長選挙で、イオンモール八幡東やコレットで期日前投票所が設置されます。これらの取り組みは今後の投票率アップの一助となると確信します。



八幡東区にお住まいの方の  
期日前投票所

イオンモール  
八幡東 1階  
「ひまわり広場」

2019年 1月19日(土)・20日(日)

午前10時～午後7時



プロフィール	生年月日 昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	職歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師) 平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選
学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業	所属	議会運営委員会委員、総務財政委員会、保健病院委員長(平成25、26年)、 八幡東区議員懇話会会長(平成29年)

白石かずひろ事務所 〒805-0061 北九州市八幡東区西本町二丁目9-5  
TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138  
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。  
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。



北九州市議会議員 八幡東区

# 白石かずひろの ハートフル通信

No.38 新春号

[発行日] 平成31年1月 [発行人・編集人] 白石一裕

2019

## 北橋健治市長、四期目へ決意の出馬表明!!

中央町地区と八幡駅前地区など八幡東区の今後のまちづくりを市長が答弁  
(詳細2面)

平成最後の新年が明けました。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は市制55周年の年として、各種記念事業など様々な取り組みがなされました。また昨年北九州市は経済協力開発機構(OECD)から、アジア地域で初めて、持続可能な開発目標として国連が定めた「SDGs」のモデル都市に選定されるとともに、国からも「SDGs未来都市」に全国で初めて選定されました。私も12月議会で市長に対し「SDGs」に関して質問し、具体的な本市発展につながる政策をSDGsの項目にて押し進めて頂ける様、要望しました。

12月議会は(12月5日～12月12日)8日間開議されました。補正予算案21億1,146万円を計上した他、条例議案なども含めたすべての議案を可決成立しました。



平成30年12月議会質問

### ●主な補正予算

ブロック塀等安全対策事業(公立学校施設)	17億5,150万円
平成30年7月豪雨による災害関連	2億5,200万円
ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業・創生事業	1,400万円
ふるさと寄附金促進事業	3,450万円など

本年も市民の要望を第一に取り組んで参ります。



行政と議会の立場で互いに切磋琢磨を誓う

八幡東区においては昨年12月25日、念願の新市立八幡病院の移転が完了し、新病院での診療を開始しました。地域はもとより市内外から患者受け入れを行うと同時に、救急医療・小児救急医療の拠点病院として、また災害拠点病院としての役割が期待される所です。

八幡駅前環境・道路整備を含め、八幡駅から望む皿倉山の素晴らしい景観に新たな魅力が加わりました。また、旧八幡市民会館の利活用についても、今後検討が進んでいく予定です。

これらを踏まえ、昨年12月議会では、まちづくりの転換期を迎える八幡駅前地区のほか、八幡東区役所を含む中央町の街づくりについても質問をしました。今後発展されるスペースワールド跡地活用計画に絡めて一層の新たな街づくりが必要となっています。

本年も市民の要望を第一に行動主義に徹して明るい街づくり、人づくりに取り組んでまいります。本年一年どうぞよろしくお願い致します。



# 12月議会質問及び答弁

平成30年12月議会の質問および答弁をご報告いたします。

## 質問 「八幡東区のまちづくり」について

八幡東区は平成29年度、旧八幡市制100周年を契機として「八幡東まちづくりプラン」を策定し、計画を具現化するために、今後、地域が市と協働して将来目指す地区の姿として、地区別のプランを策定する予定となっています。プランの策定は地域が主体となって地区の魅力・課題の整理など議論を深め、具体的な施策へ展開するため目標となる指標や年次などを設定することと、まずは中央町と斜面住宅市街地において、ステップ1として地区での議論を深化させ、地区別のまちづくりプランの策定に向けた検討を行うこととなっています。(中略)

7区の中でも最も高齢化が進んでいることや、斜面地市街地が多いこと、また昨年末、閉園したスペースワールドの跡地活用など、八幡東区には喫緊の課題が多いと感じています。地区別まちづくりプランの策定にあたっては、2021年中オープンを目指すスペースワールド跡地の大規模集客施設との連携、加えて中央町中心部に位置するUR賃貸住宅等の解体後の活用や、老朽空き家も点在している斜面住宅市街地の再構築プランなども検討を行うことになっています。

このプランは、概ね30年後といった次世代の暮らしを想定した将来ビジョンであり、八幡東区がどのようなまちとして発展していくかについて示すものですが、以下数点伺います。

**一点目に老朽化した八幡東区役所や改修が遅れているレインボープラザ、更にはUR賃貸住宅等の解体計画や市営中央町駐車場廃止など、中央町周辺の環境は大きく変わろうとしています。今後、地区別のまちづくりプランなどの議論の進め方を伺います。**

**二点目に、八幡駅前地区についてはまもなく開業する新市立八幡病院や、利活用の方向性が示された旧八幡市民会館など、こちらも大きな転換期を迎えており、魅力あるまちづくりに向けた前向きな議論を期待していますが、八幡駅前地区の環境整備についてどのように考えているのか市長にお伺いします。**

**市長 答弁** 八幡東区は八幡製鐵所の発展とともに、製鐵所の周辺、鉄道沿いに商業地、その後背地に住宅地が形成され、工業都市として発展してきました。鉄のまち「八幡」は国内外において高い知名度を誇り、また、本市のほぼ中央に位置し、鉄道・バス路線が充実していることから、利便性の高い、大変魅力的なまちであります。

しかし、近年では、人口減少・高齢化が進展し、商店街の衰退や空き家の増加・公共施設等の老朽化が目立つようになり、将来のまちの姿を見通せない状況にあります。

こうした中、昨年度、旧八幡市制100周年を契機に、地域が中心となって、概ね30年先の目指すべきまちの方向性について考え、「八幡東街づくりプラン」を策定しています。このプランは八幡東区を中央町地区や八幡駅前地区など7つの地区に分け「将来目指すまちの方向性」「その実現に向けた取組」をまとめたものです。

中央町の地区では「小倉・黒崎・戸畑方面へのアクセスが容易で地元の人が元気に生涯現役で活躍できるまち」を目指すことにしています。その実現のための取組として、老朽化の進行が見込まれる区役所とレインボープラザの再整備、グルメシティ跡の再整備、バスやタクシーの乗り継ぎ拠点の整備が挙げられております。

また八幡駅前地区では、「子育て世帯、若者、アクティブシニア、多国籍、高度人材などが共生するコミュニティのあるまち」を目指すことにしています。(中略)

本市としましては、こうした地域が主体となって策定したプランは今後、八幡東区におけるまちづくりを考える上で、ベースとなるべきものと考えております。

また、この取組の実現には、引き続き、地域が主体的に考え、取組の熟度を高めていくことが不可欠であります。(中略)

今年度は、検討体制の整った中央町地区において検討を着手します。今月11日に1回目の検討委員会を開催する予定です。その後1~2年程度をかけて、取組内容の具体化に向けた検討を行い、プランを取りまとめる予定です。この検討にあたっては、まちづくりに関する専門家の派遣、データの提供を行うなど、技術的な支援も積極的におこないます。

一方、八幡駅前地区は、市立病院の移転開業、旧八幡市民会館の活用の決定など、大きな転換期を迎えております。これらの動向を踏まえた検討を行う必要があると考えます。

このため、八幡駅前地区などの他の地区におきましても、「地区別まちづくりプラン」策定に向けた地元の機運が盛り上がり、具体的な検討を開始したいと考えます。その際、本市としましては、中央町地区同様に、地域と協働し、積極的に支援を行い、各地区の環境整備につなげてまいりたいと考えております。



## 「皿倉八景」選抜総選挙

10月に新日本三大夜景の一つである皿倉山をはじめとした複数の夜景遺産を有する本市が日本新三大夜景都市に選ばれましたが、11月には一昨年の10月から約1年間かけて皿倉山の新たな景勝地を投票によって選ぶ「皿倉八景」選抜総選挙の結果が発表されました。

この総選挙は区などで組織する「皿倉山にぎわいづくり推進協議会」が旧八幡市制100周年を記念して皿倉山の魅力を再発見してもらうために開催したもので、1937年に選定された「帆柱十五景」に代え、皆さんからの投票により新たに「皿倉八景」として選びなおすこととしたものです。

1位には太古の昔に神功皇后が遠賀や小倉、下関方面を望んだとされる「皇后国見岩」が選ばれました。2位には「天空ドーム」3位には「四季彩ロード」がそれぞれ選ばれました。式典ではこれを記念して設置されたパネルがお披露目されました。

皿倉山は現在リニューアル計画の真っ只中にあり、今後も山頂展望デッキなども新設される予定です。昨年7月豪雨で登山車道が寸断されていますが、4月末の連休前までには復旧出来ることを切に願っています。



皿倉八景決定したオープニングセレモニー



主権者教育の大切さを訴えました

## 母校県立北九州高校でパネルディスカッションに参加

去る11月、私の母校である県立北九州高校の校長からの依頼があり、母校で主権者教育の一環として企画された、高校生とのパネルディスカッションに参加させていただきました。

ステージ上は同校OBの議員3名と現役の生徒3名がパネリストとして登壇し、司会は校長がつとめました。

テーマは「高校生と政治」「地域活性化」等でした。私は18歳成人の背景などを説明したほか、現在の成人式は20歳ですが、18歳成人となると受験シーズンで忙しい時期に式典などの時間を割けないなどの課題もあり、現在検討中の自治体が多い状況を説明しました。生徒からは今後の成人式について質疑がありました。

こういった経験は初めてでしたが、若者の低投票率が問題となる中、政治の大切さ、社会全体との関わりの大切さなどについて少し理解してくれた生徒もおり、主権者教育の重要性を再認識することとなりました。今後もこういった機会があれば積極的に参加したい思いを新たにしました。

## 新市立八幡病院開院記念式典

12月8日、移転新築オープンを控えた新病院で開院記念式典が挙行されました。

12月8日、移転新築オープンを控えた新病院で開院記念式典が挙行されました。市立八幡病院は救急医療・小児救急医療・災害医療といった政策医療を担う地域の拠点病院としてその使命は大変大きいものがあります。

初当選以来、「医療の現場から」を掲げ、この建て替え問題を一貫して主張し、2期目には保健病院委員長として市議会初の提言として「敷地拡大」を全会一致で取りまとめるなど、新病院建設に向けて大きく一歩を踏み出すきっかけに携わられたことを誇りに思います。

新病院は7階建て(延べ床面積2万8600㎡)で病床数350、小児専用の集中治療室やヘリポートを備え大地震などにも耐えられる免震構造となっています。また手術室は検査と手術を同時に行う「ハイブリッド手術室」なども完備され血液疾患や感染症の患者さんのための「無菌室」も備えています。地域の皆さんに対し良質で安全な医療を実現させ、地域連携なども積極的に努めていただきたいと考えています。今春に迫った地方独立行政法人化を控え、安定的な経営にも努めていただきたいと考えています。

こんにはポテトです!皆さま明けましておめでとございます。皆さまにとって昨年は、どんな1年でしたか?ポテトが印象に残っているのは、大雨と台風で大変だったことと、甲子園が盛り上がったことでしょうか!!

父さんも相変わらず忙しく、年々せっかち度がUP↑しているような??年末のある朝、薬用メンソレータムリップクリームと同じような緑色のスティックから白いクリーム状の物を出して顔に付け「これ違う!!」と叫んでいる父さん。

なんでもリップクリームと思っておかしいなと思いつつ塗ってみたものの、よく見てみると試供品の洗顔料だったようです(笑)カサカサしている唇を気にするところまではよかったのにね。こんな父さんですが、本年もよろしく願いいたします。